

年度	2019年度（平成31年度）		
科目	卒業制作 【実習形式】		
担当	瀬戸村 勝利	使用教室	31
実務経験	制御系システム開発企業において、マイクロコンピュータを組み込んだ制御機器の設計・製作などに従事。また、様々なITシステムの設計・製作業務に従事。第一種情報技術者、技術士補（情報工学部門）の資格を所持。		
種別	■後期		
到達目標	ITシステムの自主的製作を行う（ICTエンジニアコース2年対象）		
資格 実施月			
評価方法	中間試験と期末試験の成績の平均を70%、課題提出状況などによる平常点を30%とする その合計が60点以上で、かつ出席が2/3以上であること		
教科書等	教科書は特に使用しない 参考書とプリント・Webによる情報を提示する		
指導計画	<p>C言語、Java言語、C#言語、アセンブラ言語などのプログラミング技術と、Linuxやサーバ構築などのIT全般の技術の総まとめとして、自主的な企画・設計・製作活動を行う。</p> <p>企画段階から教員は学生からの相談を受けながら、資料等を提示し、自主的な立案をうながすよう指導する。</p> <p>第1週～第3週 ITシステムの企画立案を自主的に行わせる。必要な情報は、適宜与え説明する。また、その際の思考の手順について、後で追いかけることができるような記録の取り方について指導する。</p> <p>第4週～第6週 システム構築に必要な技術情報について解説を行う。 また必要とあれば、演習を行い、必要な技術の習得を促す。</p> <p>第7週～第8週 ITシステムの設計を行う。記録を取りながら行うことに留意させる。</p> <p>第9週～第16週 システム開発とテストを繰り返しながら、必要とあれば設計の見直しも行う。 必要な技術について、相談を受けながら適宜指導を行う。</p> <p>第17週～第20週 最終的なテストを行い、年度末の学習成果発表会への出展の準備とプレゼンテーションの予行を行う。</p>		

